

1. 科目名 (単位数)	情報と職業 (2 単位)	3. 科目番号	EDIT1302
2. 授業担当教員	里吉 竜一		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	情報科教諭免許必修科目		
7. 講義概要	コンピュータやインターネットの利用は、現代の生活において必要不可欠である。それは、日常生活のみならず、ビジネス環境にも大きな変化をもたらしている。情報に関する学習において、コンピュータやネットワークの仕組みや操作を理解することも重要であるが、それらが社会やビジネスでどのように使われているのかを理解することも重要である。本講義では、情報化により、私たちの生活がどう変わったのか、また、どのようにビジネスに活用されているのかを、事例を通して考えていく。		
8. 学習目標	コンピュータやインターネットを活用することで、どんなビジネスが可能になったのかを理解して、情報社会で生きるための知識と考え方を身につけることが本講義の目標である。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	担当教員作成の e-Text を課題として割り当て、発表レジメをまとめて授業で発表及びディスカッションを行うという、アクティブ・ラーニングを通じて実社会で通用する周りの人と協力し合う能力や自ら進んで学ぶ能力を身につける。期末レポートは、講義で取り上げたテーマについて簡潔に要点を整理し、それらに対する自分の意見を発表して評価します。 ・ レポート課題 (各講義毎) ・ 期末発表課題 (1 回)		
10. 教科書・参考書・教材	・ 教科書：本講義は実践性とフロンティア性を重視し、担当教員作成の e-Text を使用します。 ・ 副教材：講義の中で適宜紹介します。 ・ 参考書：講義の中で適宜紹介します。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業で扱う情報と職業に関する内容について理解しているか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章で、自分の考えを述べられるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加、受講態度 30% 2. 授業ごとに課されるレポートや課題 70%		
12. 受講生へのメッセージ	・ 本講義の内容は、現実の実践の中で考え、深めてきたテーマがもとになっており、皆さんと一緒に情報社会の中で「働くとは何か」「社会の中でどのように役に立つのか」「自分は何を大切にしている人間なのか」「それでも譲れない正しさとは何か」といった問いを、現実と結びつけながら考えていきます。生成 AI と協働する時代に求められるのは、答えを出す力ではなく、自ら問いを立て続ける力です。 ・ 質問はいつでも気軽にしてください。 ・ 欠席、遅刻、早退をする場合は連絡してください。 ・ 本学規定により 3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認められないので注意してください。 ・ 遅刻 2 回をもって欠席 1 回とみなします。やむを得ない事情がある場合は、事前または事後速やかに申し出てください。		
13. オフィスアワー	・ 面談や補講の希望者は事前にメール等で連絡してください。p-rysatoyo@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション：情報社会と職業の変化 ・ 授業の目的と全体像 ・ 情報化・ AI が仕事をどう変えているか ・ これからの社会で職業に求められる視点 ・ 期末発表課題の予告	事前学習	「情報と職業」について調べておく。
		事後学習	発表レジメの書き方や発表の方法等について理解した上で、資料収集、レジメ作成や発表準備を始める。
第 2 回	そもそも「働く」とは何か ・ なぜ人は働くのかを自由に考える ・ 「生活のため」「やりがい」「社会貢献」など多様な働く理由の共有 ・ 働く意味は一つではないことを理解する	事前学習	「働く」とは何かについて調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第 3 回	アーレントの「労働・仕事・行為」 ・ 第 2 回で出した意見を 3 分類に当てはめる ・ 教職はどれに近いかを考える	事前学習	アーレントの「労働・仕事・行為」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第 4 回	情報を扱う職業の世界 ・ 事務職の情報化 ・ IT 関連職 ・ データ活用職 ・ 教師も「情報を扱う専門職」であることの理解	事前学習	「情報を扱う職業の世界」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第 5 回	職業は「生き方」の選択である - ドラッカーに学ぶ働き方 ・ 仕事は収入手段ではなく社会への貢献の形 ・ 「何によって覚えられたいか」という問い ・ 強みを活かす働き方	事前学習	「ドラッカーに学ぶ働き方」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。

	<ul style="list-style-type: none"> 職業は人生のメッセージであるという考え方 キャリアアンカー理論 ・ 8つのキャリア志向 ・ 自己診断ワーク ・ 自分の価値観と職業選択の関係を理解する 		
第6回		事前学習	「キャリアアンカー理論」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第7回	情報社会の法律入門 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報保護法 ・ 著作権法 ・ 不正アクセス行為の禁止等に関する法律 	事前学習	「情報社会の法律入門」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第8回	教職という仕事：カントの二つの法則から考える <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然法則の世界（効率・成果・評価） ・ 道徳法則の世界（「～すべき」という義務） ・ 企業論の論理と教職の論理の違い ・ 教師の倫理的責任 	事前学習	「カントの二つの法則」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第9回	情報倫理：職業人はどこで“線”を引くのか <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS炎上事例 ・ 内部情報・個人情報の扱い ・ 「バレなければいい」はなぜ問題か ・ 専門職に求められる倫理観 	事前学習	「情報倫理」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第10回	情報社会の“所有”とは何か – 知的財産と創造の責任 <ul style="list-style-type: none"> ・ 著作権の基礎 ・ 教育現場での教材利用 ・ AI生成物の権利問題 ・ 他人の成果を使う責任 	事前学習	「知的財産と創造の責任」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第11回	プライバシーとデータ社会：見られる社会で働くということ <ul style="list-style-type: none"> ・ ビッグデータ ・ 位置情報 ・ アルゴリズムによる評価 ・ 教育データ・学習履歴の扱い ・ 監視社会と自由 	事前学習	「プライバシーとデータ社会」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第12回	AIと仕事の未来 <ul style="list-style-type: none"> ・ AIに代替される仕事 ・ 人間にしかできない仕事 ・ 教育現場とAI 	事前学習	「AIと仕事の未来」について調べておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第13回	期末発表① 発表テーマ 「情報社会において、私はどのような職業人になりたいか – アーレント / ドラッカー / キャリアアンカー / 教職の倫理的役割を踏まえて –」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生発表（前半グループ） ・ 質疑応答 ・ 講評 	事前学習	「期末発表①」について準備しておく。
		事後学習	「評価規準」を確認して自己評価及び相互評価の教育的価値を考える。
第14回	期末発表② <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生発表（後半グループ） ・ 質疑応答 ・ 講評 	事前学習	「期末発表②」について準備しておく。
		事後学習	「評価規準」を確認して自己評価及び相互評価の教育的価値を考える。
第15回	結果開示と総まとめ 学生自身が他者の期末レポートを評価するのと同じように客観的に自己の期末レポートも評価する教育的価値を習得します。自己の内面に向かう自己教育力の醸成を目的とします。	事前学習	期末レポートを客観的に評価する意義を考えておく。
		事後学習	客観的な自己評価とは何かを理論と実践の両面から考察し、自分の判断や行動のよりどころとなる確かな視点の形成を目指す。